



平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年2月4日

上場取引所 東

上場会社名 日本パーカライジング株式会社

コード番号 4095 URL <http://www.parker.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小野 駿

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 田村 裕保

TEL 03-3278-4333

四半期報告書提出予定日 平成23年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第3四半期	59,553	19.4	9,444	96.0	10,289	75.7	5,679	99.8
22年3月期第3四半期	49,878	△32.6	4,818	△49.5	5,857	△43.7	2,843	△40.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第3四半期	91.65	—
22年3月期第3四半期	45.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第3四半期	122,613	80,206	54.7	1,083.07
22年3月期	119,101	76,133	53.7	1,031.14

(参考) 自己資本 23年3月期第3四半期 67,113百万円 22年3月期 63,905百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
23年3月期	—	10.00	—		
23年3月期 (予想)				10.00	20.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	79,500	14.6	11,800	56.1	12,800	41.3	6,800	64.6	109.74

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年3月期3Q 66,302,262株 22年3月期 66,302,262株

② 期末自己株式数 23年3月期3Q 4,336,314株 22年3月期 4,326,661株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年3月期3Q 61,972,335株 22年3月期3Q 61,980,232株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信（添付資料）4ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要	5
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
4. 補足情報	14
(1) 四半期毎の業績の推移（連結）	14
(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報	15

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成22年4月1日から平成22年12月31日まで)の世界経済は、低成長の欧米経済と一進一退はあるものの拡大基調の続くアジア経済という構図が続いております。また、国内の経済は、対ドルで円高が続くとともに輸出の停滞感が強まりました。また、政策による景気刺激効果も減少するなど、回復感の乏しい厳しい状況で推移いたしました。

金属表面改質の事業環境につきましても、主要取引先であります自動車業界の生産状況は、エコカー補助金の打ち切りなどにより国内自動車販売が低調に推移するなど厳しい状況で推移いたしました。

このような厳しい経営環境において当社グループでは、将来を見据えた競争力のある新技術の創出とその市場展開を強化するとともに、海外事業の拡大にも努めてまいりました。また、あらゆるコストの削減を進めるなど、収益の確保に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績は次のようになりました。

【連結決算の概況】

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
当第3四半期累計期間 (平成23年3月期)	59,553	9,444	10,289	5,679
前第3四半期累計期間 (平成22年3月期)	49,878	4,818	5,857	2,843
増減金額	9,675	4,625	4,432	2,836
増減率	19.4%	96.0%	75.7%	99.8%

売上高は59,553百万円と前年同四半期に比べ9,675百万円(19.4%)の増収となりました。回復の遅れていた加工事業の需要が自動車・機械業界向けに持ち直すとともに、薬品事業も堅調に推移いたしました。しかしながら、自動車メーカーなどの設備投資は依然低調なことから装置事業は伸び悩みました。

営業利益は9,444百万円と前年同四半期に比べ4,625百万円(96.0%)の大幅な増益となりました。販売費及び一般管理費は14,152百万円と前年同四半期に比べ1,201百万円(9.3%)の増加となりました。その内訳は人件費が760百万円(9.6%)、経費が440百万円(8.7%)それぞれ増加いたしました。

営業外の損益では、持分法による投資利益が221百万円増加いたしました。為替差損が298百万円増加し、営業外収支は前年同四半期と比べ193百万円減少し845百万円の収入となり、経常利益は10,289百万円と前年同四半期に比べ4,432百万円(75.7%)の増益となりました。

特別損益では、当第3四半期累計期間における大きな損失計上はありません。また、少数株主利益が連結子会社の業績の回復に伴い前年同四半期に比べ583百万円増加しました。この結果、四半期純利益は5,679百万円と前年同四半期に比べ2,836百万円(99.8%)の増益となりました。

【投資情報】

(単位:百万円)

	当第3四半期累計期間	前第3四半期累計期間
減価償却費(有形)	2,391	2,687
設備投資額	1,946	2,770
研究開発費	1,596	1,459
有利子負債	8,257	10,874

【事業の種類別セグメントの概況】

(単位：百万円)

事業の種類	外部顧客に対する売上高				営業利益			
	当第3四 半期累計	前第3四 半期累計	増減額	増減率	当第3四 半期累計	前第3四 半期累計	増減額	増減率
薬品事業	27,744	23,237	4,507	19.4%	7,373	5,254	2,119	40.3%
装置事業	6,083	6,082	0	0.0%	2	44	46	105.4%
加工事業	23,481	18,343	5,138	28.0%	4,982	2,261	2,720	120.3%
その他	2,243	2,214	28	1.3%	309	199	110	55.4%
調整額(消去)	-	-	-	-	3,218	2,940	278	-
連結	59,553	49,878	9,675	19.4%	9,444	4,818	4,625	96.0%

薬品事業

外部顧客に対する売上高は27,744百万円と前年同四半期に比べ4,507百万円(19.4%)の増収となり、営業利益は7,373百万円と2,119百万円(40.3%)の増益となりました。当事業部門は、耐食性、耐磨耗性、潤滑性などの機能性向上を目的に、金属などの表面に化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売しております。比較的に堅調には推移しているものの、当期の四半期毎の売上高は、第1四半期9,169百万円、第2四半期9,278百万円、第3四半期9,297百万円とほぼ同水準で推移しており、自動車、鉄鋼業界向けの金属表面処理剤の需要は伸び悩んでおります。

装置事業

外部顧客に対する売上高は前年同四半期に比べほぼ同額の6,083百万円となり、営業利益は2百万円の赤字と46百万円(前第3四半期累計期間は44百万円の利益)の減益となりました。当事業部門は、輸送機器業界を中心に前処理設備及び塗装設備や粉体塗装設備などを製造・販売しておりますが、自動車メーカーなどの設備投資は依然低調に推移しており、特に国内において厳しい状況で推移いたしました。しかしながら、当第3四半期会計期間3ヶ月間の売上高は2,763百万円と前年同四半期に比べ1,587百万円(135.0%)の増収となりました。

加工事業

外部顧客に対する売上高は23,481百万円と前年同四半期に比べ5,138百万円(28.0%)の増収となり、営業利益は4,982百万円と2,720百万円(120.3%)の大幅な増益となりました。当事業部門は、熱処理加工、防錆加工、めっき処理などの表面処理の加工サービスを提供しておりますが、回復が遅れておりました熱処理加工の需要が、自動車部品や機械部品向けなどで改善し、特に海外における加工事業の収益率が向上いたしました。

その他

外部顧客に対する売上高は2,243百万円と前年同四半期に比べ28百万円(1.3%)の増収となり、営業利益は309百万円と110百万円(55.4%)の増益となりました。当事業部門は、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを営んでおります。当第3四半期累計期間では、物流の改善により運送事業が増益になるとともにビルメンテナンス事業も増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債、純資産等の状況に関する分析)

資産合計は、前連結会計年度末と比較し3,512百万円増加し122,613百万円となりました。主な増減といたしましては、流動資産では受取手形及び売掛金が1,806百万円、たな卸資産が1,651百万円それぞれ増加いたしました。固定資産では減価償却が進み有形固定資産が1,337百万円減少いたしました。

負債合計は、前連結会計年度末と比較し 560 百万円減少し 42,407 百万円となりました。主な増減といたしましては、流動負債では短期借入金が 2,017 百万円減少した一方で、前受金などの増加により流動負債のその他が 1,587 百万円増加いたしました。

少数株主持分を含めた純資産合計は、前連結会計年度末と比較し 4,073 百万円増加し 80,206 百万円となりました。主な増減といたしましては、利益剰余金が 4,519 百万円、少数株主持分が 865 百万円それぞれ増加した一方で、為替換算調整勘定が 896 百万円減少いたしました。

以上の結果、自己資本比率は 54.7%と前連結会計年度末から 1.0%増加するとともに、一株当たり純資産は 1,083 円 7 銭と 51 円 93 銭増加いたしました。

(キャッシュ・フローの状況に関する分析)

営業活動によるキャッシュ・フローは 7,942 百万円の収入となりました。主な増加項目といたしましては、税金等調整前四半期純利益が 10,254 百万円、減価償却費が 2,505 百万円、前受金の増減額が 1,764 百万円、仕入債務の増減額が 1,087 百万円であり、主な減少項目は、売上債権の増減額が 2,018 百万円、たな卸資産の増減額が 1,831 百万円、法人税等の支払額が 3,589 百万円であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは 3,107 百万円の支出となりました。主な減少項目といたしましては、生産設備の増強等のための有形固定資産の取得による支出が 1,946 百万円、投資有価証券の取得による支出が 851 百万円などであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは 3,782 百万円の支出となりました。主な減少項目といたしましては、短期・長期借入金を合わせた純額で 2,320 百万円、配当金の支払額 1,214 百万円であります。

当第3四半期累計期間では、現金及び現金同等物に係る換算差額で 344 百万円減少いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ 694 百万円増加し 20,974 百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

(通期の見通し)

景気の先行きは不透明であり、金属表面改質の需要動向も大変見極めにくい状況が続いておりますが、当社グループの連結業績を現段階で検討いたしました結果、平成 22 年 5 月に公表いたしました連結業績予想から、国内事業が堅調に推移するなか、海外の業績が予想以上に伸びたことから、下記の通り業績予想を修正いたします。

今後とも当社グループは、国内外の市場ニーズを着実に捉え、迅速に対応していくとともに、環境を重視した次世代技術の研究開発に積極的に取り組み、企業体質の強化と収益の向上に努めてまいります。

平成 23 年 3 月期連結業績の見通し

	金額	前期比	増減率
売上高	79,500 百万円	10,106 百万円	14.6%
営業利益	11,800 百万円	4,239 百万円	56.1%
経常利益	12,800 百万円	3,744 百万円	41.3%
当期純利益	6,800 百万円	2,668 百万円	64.6%

[通期業績予想は、現時点の入手可能な情報に基づき判断したものであり、経済情勢、市場の動向、為替レートなどにより変動する可能性があります。]

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の概要

簡便な会計処理

- 1) 一般債権の貸倒見積高の算定方法
当第3四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。
- 2) 棚卸資産の評価方法
当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。
- 3) 原価差異の配賦方法
予定価格等を適用しているために原価差異が生じた場合、当該原価差異の棚卸資産と売上原価への配賦を年度決算と比較して簡便的に事業の種類別セグメント区分により実施する方法によっております。
- 4) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の年度中の取得、売却又は除却等の見積りを考慮した予算に基づく年間償却予定額を期間按分する方法を一部の連結子会社で採用しております。
なお、定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。
- 5) 経過勘定項目の算定方法
合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。
- 6) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法
繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。
- 7) 連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去
連結会社相互間の債権と債務の相殺消去
当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内での当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。
連結会社相互間の取引の相殺消去
取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しいときには、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。
- 8) 未実現損益の消去
四半期連結会計期間末在庫に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

- 1) 税金費用計算
当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

1. 会計処理基準に関する事項の変更

「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日

公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。これに伴う経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

資産除去債務に関する会計基準の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。これに伴う営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

2. 表示方法の変更

(四半期連結損益計算書関係)

前第3四半期連結累計期間において、特別利益の「その他」に含めておりました「貸倒引当金戻入額」は特別利益総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の特別利益の「その他」に含まれております「貸倒引当金戻入額」は1百万円であります。

前第3四半期連結累計期間において、特別損失の「その他」に含めておりました「固定資産除却損」は特別損失総額の100分の20を超えたため、当第3四半期連結累計期間では区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の特別損失の「その他」に含まれております「固定資産除却損」は12百万円であります。

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づき財務諸表等規則等の一部を改正する内閣府令(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用に伴い、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目を表示しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,183	23,496
受取手形及び売掛金	26,428	24,621
商品及び製品	1,689	1,712
仕掛品	2,335	938
原材料及び貯蔵品	3,222	2,944
その他	2,445	2,244
貸倒引当金	110	49
流動資産合計	60,194	55,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	12,095	12,178
土地	14,437	14,398
その他(純額)	8,272	9,566
有形固定資産合計	34,805	36,142
無形固定資産		
	1,663	1,842
投資その他の資産		
投資有価証券	18,410	18,545
その他	7,722	6,928
貸倒引当金	182	267
投資その他の資産合計	25,950	25,206
固定資産合計	62,419	63,191
資産合計	122,613	119,101
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,823	11,822
短期借入金	3,471	5,488
1年内返済予定の長期借入金	2,552	2,603
未払法人税等	1,886	1,992
賞与引当金	1,084	2,018
その他	6,556	4,968
流動負債合計	28,375	28,894
固定負債		
長期借入金	2,190	2,337
退職給付引当金	9,463	9,358
その他	2,377	2,376
固定負債合計	14,031	14,072
負債合計	42,407	42,967

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,560	4,560
資本剰余金	3,913	3,913
利益剰余金	63,734	59,214
自己株式	3,618	3,611
株主資本合計	68,588	64,075
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,333	2,680
繰延ヘッジ損益	87	25
為替換算調整勘定	3,721	2,825
評価・換算差額等合計	1,475	170
少数株主持分	13,093	12,227
純資産合計	80,206	76,133
負債純資産合計	122,613	119,101

(2) 四半期連結損益計算書
【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
売上高	49,878	59,553
売上原価	32,108	35,957
売上総利益	17,769	23,596
販売費及び一般管理費	12,950	14,152
営業利益	4,818	9,444
営業外収益		
受取利息	68	49
受取配当金	228	226
受取賃貸料	250	241
持分法による投資利益	340	561
その他	393	366
営業外収益合計	1,281	1,445
営業外費用		
支払利息	157	108
為替差損	8	307
その他	77	184
営業外費用合計	243	600
経常利益	5,857	10,289
特別利益		
固定資産売却益	11	10
貸倒引当金戻入額	-	4
その他	3	0
特別利益合計	15	14
特別損失		
固定資産除却損	-	19
投資有価証券評価損	520	0
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	-	22
その他	71	7
特別損失合計	592	50
税金等調整前四半期純利益	5,280	10,254
法人税等	1,885	3,438
少数株主損益調整前四半期純利益	-	6,815
少数株主利益	552	1,135
四半期純利益	2,843	5,679

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	5,280	10,254
減価償却費	2,823	2,505
減損損失	30	-
貸倒引当金の増減額(は減少)	4	77
賞与引当金の増減額(は減少)	712	934
退職給付引当金の増減額(は減少)	166	109
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	39	108
受取利息及び受取配当金	297	275
支払利息	157	108
為替差損益(は益)	7	307
持分法による投資損益(は益)	340	561
有形固定資産除却損	12	17
投資有価証券評価損益(は益)	520	0
売上債権の増減額(は増加)	3,563	2,018
たな卸資産の増減額(は増加)	1,385	1,831
前渡金の増減額(は増加)	160	73
仕入債務の増減額(は減少)	221	1,087
未払金の増減額(は減少)	28	59
未払費用の増減額(は減少)	167	70
前受金の増減額(は減少)	1,577	1,764
未払消費税等の増減額(は減少)	241	88
預り金の増減額(は減少)	119	231
その他	129	151
小計	7,297	11,129
利息及び配当金の受取額	408	501
利息の支払額	156	99
法人税等の支払額	1,598	3,589
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,950	7,942
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	2,770	1,946
有形固定資産の売却による収入	25	46
投資有価証券の取得による支出	233	851
投資有価証券の売却による収入	0	298
定期預金の預入による支出	412	567
定期預金の払戻による収入	163	359
その他	179	446
投資活動によるキャッシュ・フロー	3,407	3,107

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,119	243
短期借入金の返済による支出	1,819	2,250
長期借入れによる収入	698	1,552
長期借入金の返済による支出	1,448	1,865
自己株式の取得による支出	5	5
配当金の支払額	1,366	1,214
少数株主への配当金の支払額	205	113
その他	155	128
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,182	3,782
現金及び現金同等物に係る換算差額	83	344
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	444	706
現金及び現金同等物の期首残高	17,075	20,280
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	5	12
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,514	20,974

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	薬品 事業	装置 事業	加工 事業	その他 の事業	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	23,237	6,082	18,343	2,214	49,878	-	49,878
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	866	244	18	1,039	2,169	(2,169)	-
計	24,103	6,327	18,362	3,254	52,047	(2,169)	49,878
営業費用	18,849	6,282	16,101	3,055	44,288	770	45,059
営業利益	5,254	44	2,261	199	7,759	(2,940)	4,818

b. 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	欧米	計	消去又は 全社	連結
売上高						
(1)外部顧客に対する売上高	38,966	9,244	1,668	49,878	-	49,878
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,833	7	14	1,855	(1,855)	-
計	40,799	9,251	1,682	51,733	(1,855)	49,878
営業費用	33,714	8,474	1,798	43,987	1,072	45,059
営業利益又は営業損失()	7,084	777	116	7,746	(2,927)	4,818

c. 海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

(単位:百万円)

	アジア	北米	その他の地域	計
海外売上高	11,119	1,511	477	13,109
連結売上高				49,878
連結売上高に占める 海外売上高の割合	22.3%	3.0%	1.0%	26.3%

【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、経営組織の形態と製品及びサービスの特性に基づいて、「薬品事業」、「装置事業」及び「加工事業」の3つを報告セグメントとしております。

「薬品事業」は耐食性、耐摩耗性、潤滑性などの機能性向上を目的に、金属などの表面に化成皮膜を施し、素材の付加価値を高める薬剤などを中心に製造・販売を、「装置事業」は前処理設備、塗装設備、粉体塗装設備などの製造・販売を、「加工事業」は熱処理加工、防錆加工、めっき加工などの表面処理の加工サービス提供を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	薬品事業	装置事業	加工事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に対する 売上高	27,744	6,083	23,481	57,309	2,243	59,553	-	59,553
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,010	427	46	1,484	1,189	2,674	2,674	-
計	28,755	6,510	23,528	58,794	3,433	62,228	2,674	59,553
セグメント利益又は 損失()	7,373	2	4,982	12,353	309	12,663	3,218	9,444

(注) 1 「その他」は、報告セグメントに含まれない区分であり、ビルメンテナンス事業、不動産賃貸事業、リース事業、運送事業などを含んでおります。

2 セグメント利益又は損失()の調整額 3,218百万円には、セグメント間取引消去97百万円、各報告セグメントに帰属しない全社費用 3,316百万円が含まれております。なお、全社費用は主に、一般管理費及び技術研究費であります。

3 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期毎の業績の推移(連結)

平成23年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 22年4月～22年6月	第2四半期 22年7月～22年9月	第3四半期 22年10月～22年12月	第4四半期 23年1月～23年3月	通算 22年4月～22年12月
売上高	18,698	20,004	20,850		59,553
売上総利益	7,568	7,720	8,307		23,596
営業利益	2,949	2,906	3,588		9,444
経常利益	3,236	3,234	3,818		10,289
税金等調整前当期純利益	3,215	3,217	3,821		10,254
当期純利益	1,625	1,870	2,183		5,679
総資産	118,525	120,683	122,613		
純資産	77,002	77,917	80,206		

平成22年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 21年4月～21年6月	第2四半期 21年7月～21年9月	第3四半期 21年10月～21年12月	第4四半期 22年1月～22年3月	通算 21年4月～22年3月
売上高	14,692	17,570	17,615	19,515	69,393
売上総利益	4,618	6,257	6,893	7,371	25,141
営業利益	375	1,960	2,482	2,741	7,560
経常利益	672	2,299	2,884	3,198	9,055
税金等調整前当期純利益	642	1,771	2,866	2,934	8,215
当期純利益	268	945	1,629	1,288	4,131
総資産	111,008	112,525	115,004	119,101	
純資産	71,566	72,884	73,729	76,133	

平成21年3月期(連結)

(単位:百万円)

	第1四半期 20年4月～20年6月	第2四半期 20年7月～20年9月	第3四半期 20年10月～20年12月	第4四半期 21年1月～21年3月	通算 20年4月～21年3月
売上高	25,303	25,680	23,057	16,765	90,807
売上総利益	8,796	8,511	7,786	3,897	28,992
営業利益	3,475	3,401	2,667	197	9,347
経常利益	3,815	3,771	2,819	577	9,828
税金等調整前当期純利益	3,773	3,530	2,022	208	9,117
当期純利益	1,902	1,857	1,040	360	4,439
総資産	133,462	131,498	126,528	111,088	
純資産	76,225	77,350	74,456	69,774	

(2) 報告セグメントの所在地別売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

報告セグメント		売上高				セグメント利益又は損失()			
		当第3四 半期連結 累計期間	前第3四 半期連結 累計期間	増減	増減率	当第3四 半期連結 累計期間	前第3四 半期連結 累計期間	増減	増減率
薬品 事業	日本	20,798	18,137	2,660	14.7%	5,944	4,648	1,296	27.9%
	アジア	6,692	4,833	1,858	38.5%	1,258	498	759	152.4%
	欧米	254	266	11	4.5%	56	74	18	24.4%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,010	866	144	16.6%	114	33	81	246.9%
	計	28,755	24,103	4,651	19.3%	7,373	5,254	2,119	40.3%
装置 事業	日本	3,688	4,570	882	19.3%	332	167	165	98.8%
	アジア	2,394	1,510	883	58.5%	322	185	136	73.4%
	欧米	0	1	0	32.6%	0	0	0	28.9%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	427	244	182	74.8%	7	24	17	71.5%
	計	6,510	6,327	183	2.9%	2	44	46	105.4%
加工 事業	日本	17,116	14,082	3,033	21.5%	3,918	2,146	1,772	82.6%
	アジア	4,500	2,859	1,640	57.4%	894	200	693	345.4%
	欧米	1,864	1,400	464	33.1%	73	191	264	138.3%
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	46	18	28	150.5%	95	105	9	9.4%
	計	23,528	18,362	5,166	28.1%	4,982	2,261	2,720	120.3%
報告セグメント計		58,794	48,793	10,001	20.5%	12,353	7,559	4,793	63.4%
その 他	日本	2,162	2,174	12	0.6%	302	230	71	31.2%
	アジア	81	39	41	102.6%	4	34	38	113.9%
	欧米	-	-	-	-	-	-	-	-
	セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,189	1,039	149	14.4%	2	2	0	14.0%
	計	3,433	3,254	178	5.5%	309	199	110	55.4%
合計		62,228	52,047	10,180	19.6%	12,663	7,759	4,904	63.2%
調整額		2,674	2,169	505	23.3%	3,218	2,940	278	9.5%
四半期連結損益 計算書計上額		59,553	49,878	9,675	19.4%	9,444	4,818	4,625	96.0%